

## 平成17年9月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成17年2月8日

会社名 **太洋物産株式会社**

(JASDAQ・コード番号：9941)

(URL <http://www.taiyo-bussan.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長：柏原 弘 TEL：(03)5402-8181

責任者役職・氏名 総務部長：宮内 敏雄

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有・無

(内容)税金費用等、一部簡便な方法を採用しております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有・無

その他

当社は、当四半期から財務・業績の概況を作成しておりますので、前年同四半期(平成16年9月期第1四半期)の売上高以外については、「-」で表示しております。

### 2. 平成17年9月期 第1四半期財務・業績の概況(平成16年10月1日～平成16年12月31日)

#### (1)経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年9月期第1四半期	15,359	4.2	153	-	116	-	63	-
16年9月期第1四半期	16,032	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年9月期	65,148		315		304		130	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年9月期第1四半期	7	55	-	-
16年9月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年9月期	15	51	-	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率。

#### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当四半期における当社を取り巻く環境は、主力取扱商品であるプロイラーについては中国・タイからの生肉が、牛肉についてはアメリカ産の輸入停止の状況が続きました。また、中国においては「金融引き締め政策」の影響から自動車の販売が低迷するなど、厳しい状況にありました。

その中で、供給者としての役割を果たすために、仕入ルートの拡大、高付加価値商品の開発、経営の効率化等に積極的に取り組みました。

この結果、売上高は153億59百万円(前年同期比6億73百万円減、4.2%減)、営業利益は1億53百万円、経常利益は1億16百万円、当四半期純利益は63百万円となりました。(部門別の状況は、添付書類を参照。)

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1 株 当 たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
17 年 9 月 期 第 1 四 半 期	19,599	6,479	33.1	772 52
16 年 9 月 期 第 1 四 半 期	-	-	-	- -
(参考)16 年 9 月 期	19,257	6,481	33.7	772 80

【キャッシュ・フローの状況】

	営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	現 金 及 び 現 金 同 等 物 四 半 期 末 ( 期 末 ) 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17 年 9 月 期 第 1 四 半 期	444	6	745	507
16 年 9 月 期 第 1 四 半 期	-	-	-	-
(参考)16 年 9 月 期	527	392	154	202

[ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当四半期における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ3億5百万円増加し、5億7百万円となりました。また、当四半期における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

当四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を1億16百万円計上し、売上債権の回収8億22百万円、未払費用の増加2億77百万円等の収入がありましたが、たな卸資産の増加6億88百万円、仕入債務の減少7億68百万円等の支出により、4億44百万円の支出となりました。

( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

当四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資事業組合への出資の回収6百万円等により、6百万円の収入となりました。

( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

当四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金による純収入8億円、配当金の支払による支出54百万円により、7億45百万円の収入となりました。

添付資料：(要約)四半期貸借対照表、(要約)四半期損益計算書、(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書  
四半期部門別売上高

【参 考】

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当該四半期の業績は、概ね当初予想に沿った推移をいたしておりますので、中間期及び通期の業績予想につきましては、平成16年11月19日に発表いたしました「平成16年9月期 決算短信(非連結)」に記載の予想と、現在のところ変更はございません。

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

以 上

## 〔添付資料〕

## 1.(要約)四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(参考)
	(平成17年9月期 第1四半期末)	(平成16年9月期 第1四半期末)	金 額	増減率	平成16年9月期 金 額
<b>(資産の部)</b>					
<b>流動資産</b>					
現金及び預金	507,865	-	-	-	202,330
受取手形	340,019	-	-	-	376,863
売掛金	8,729,178	-	-	-	9,484,418
有価証券	99,950	-	-	-	99,950
たな卸資産	6,626,935	-	-	-	5,938,096
その他	1,631,119	-	-	-	1,390,826
貸倒引当金	70,000	-	-	-	77,009
流動資産合計	17,865,069	-	-	-	17,415,476
<b>固定資産</b>					
有形固定資産	645,715	-	-	-	650,497
無形固定資産	11,161	-	-	-	12,017
投資その他の資産	1,159,437	-	-	-	1,209,612
貸倒引当金	81,561	-	-	-	30,389
固定資産合計	1,734,751	-	-	-	1,841,738
資産合計	19,599,821	-	-	-	19,257,214
<b>(負債の部)</b>					
<b>流動負債</b>					
支払手形	1,080,509	-	-	-	875,501
買掛金	1,457,070	-	-	-	2,430,181
短期借入金	7,200,000	-	-	-	6,400,000
未払費用	1,888,212	-	-	-	1,610,569
未払法人税等	43,502	-	-	-	-
その他	876,401	-	-	-	893,700
流動負債合計	12,545,696	-	-	-	12,209,952
<b>固定負債</b>					
長期借入金	260,000	-	-	-	260,000
退職給付引当金	119,492	-	-	-	112,032
役員退職引当金	195,175	-	-	-	193,438
その他	425	-	-	-	425
固定負債合計	575,093	-	-	-	565,896
負債合計	13,120,789	-	-	-	12,775,849
<b>(資本の部)</b>					
資本金	1,149,859	-	-	-	1,149,859
資本剰余金	1,111,800	-	-	-	1,111,800
利益剰余金	4,197,591	-	-	-	4,188,763
その他有価証券評価差額金	20,059	-	-	-	31,220
自己株式	279	-	-	-	279
資本合計	6,479,031	-	-	-	6,481,364
負債及び資本合計	19,599,821	-	-	-	19,257,214

## 2.(要約)四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期	前年同四半期	増 減		(ご参考)
	(平成17年9月期 第1四半期)	(平成16年9月期 第1四半期)	金 額	増減率	平成16年9月期 金 額
売上高	15,359,268	16,032,679	673,410	4.2	65,148,488
売上原価	14,812,254	-	-	-	63,497,305
売上総利益	547,014	-	-	-	1,651,183
販売費及び一般管理費	393,106	-	-	-	1,335,195
営業利益	153,908	-	-	-	315,988
<b>営業外収益</b>					
受取利息	123	-	-	-	4,272
受取配当金	585	-	-	-	1,827
受取賃貸料	1,110	-	-	-	4,865
為替差益	-	-	-	-	28,464
その他	512	-	-	-	15,249
営業外収益合計	2,331	-	-	-	54,679
<b>営業外費用</b>					
支払利息	10,387	-	-	-	44,921
為替差損	26,421	-	-	-	-
支払保証料	2,560	-	-	-	8,849
その他	574	-	-	-	12,229
営業外費用合計	39,943	-	-	-	66,000
経常利益	116,296	-	-	-	304,667
特別利益	-	-	-	-	5,984
特別損失	-	-	-	-	2,583
税引前四半期(当期)純利益	116,296	-	-	-	308,068
税金費用	52,953	-	-	-	177,932
四半期(当期)純利益	63,342	-	-	-	130,136

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	当四半期	前年同四半期	(ご参考)
	(平成17年9月期 第1四半期)	(平成16年9月期 第1四半期)	平成16年9月期
	金額	金額	金額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益	116,296	-	308,068
減価償却費	5,788	-	19,073
貸倒引当金の増減額(は減少額)	44,163	-	328,231
退職給付引当金の増加額	7,459	-	9,060
役員退職引当金の増減額(は減少額)	1,737	-	18,464
受取利息及び受取配当金	724	-	7,566
支払利息	10,387	-	44,921
為替差損益(は益)	4,154	-	8,568
売上債権の減少額	822,083	-	748,703
たな卸資産の増加額	688,839	-	928,434
仕入債務の増減額(は減少額)	768,102	-	524,878
未払費用の増減額(は減少額)	277,643	-	244,564
その他	258,069	-	235,151
小 計	426,021	-	116,276
利息及び配当金の受取額	709	-	8,114
利息の支払額	10,195	-	45,043
法人税等の支払額	9,451	-	374,267
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,959	-	527,473
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
投資事業組合への出資の回収による収入	6,650	-	-
その他	540	-	392,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,109	-	392,339
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の純増減額	800,000	-	100,000
配当金の支払額	54,514	-	54,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	745,485	-	154,508
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	1,101	-	8,657
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	305,535	-	280,984
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	202,330	-	483,315
<b>現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高</b>	507,865	-	202,330

#### 4. 四半期部門別売上高

(単位：千円、%)

	当四半期 〔平成17年9月期〕 〔第1四半期〕	前年同四半期 〔平成16年9月期〕 〔第1四半期〕	増 減		(ご参考) 平成16年9月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
農 産 部	5,951,384	4,587,261	1,364,122	29.7	24,612,025
食 糧 部	7,010,256	7,731,613	721,357	9.3	27,622,249
生 活 産 業 部	1,096,313	1,041,200	55,113	5.3	5,378,481
産 業 機 材 部	1,301,314	2,672,603	1,371,289	51.3	7,535,732
合 計	15,359,268	16,032,679	673,410	4.2	65,148,488

##### 【農 産 部】

食品用大豆(Non-GMO)においては、海外・国内市況が2004年度半ばの10ドル台から5ドル台に急落した中での四半期でした。市況低迷により取引量が伸び悩む中、国内取引にも注力した結果、売上高を伸長させることができました。

菜種においては、当四半期に受注が集中したことから、売上高が伸長いたしました。

この結果、売上高は59億51百万円(前年同期比13億64百万円増、29.7%増)となりました。

##### 【食 糧 部】

ブイラーにおいては、鳥インフルエンザの発生から主要産地(中国・タイ)産の輸入停止の状況が続きました。これに対応するため、ブラジル産の高規格製品の開発等、同産地製品の供給拡大を積極的に行い、売上高を伸ばすことができました。

牛肉においては、一昨年12月から米国産の輸入停止の状況が続き、豪州産を中心とした供給を積極的に行いましたが、米国産の輸入停止分をカバーするには至らず、売上高は減少となりました。

この結果、売上高は70億10百万円(前年同期比7億21百万円減、9.3%減)となりました。

##### 【生 活 産 業 部】

世界的な資源価格の高騰が顕著でありましたが、鉄鋼関係については、積極的な提案営業を展開し、売上高を大幅に伸長させることができました。また、サプリメントや、中国への輸出を中心とした化学品についても、順調に推移しました。

この結果、売上高は10億96百万円(前年同期比55百万円増、5.3%増)となりました。

##### 【産 業 機 材 部】

「西部大開発」を中心としたインフラ整備が旺盛な中国でありましたが、昨年春に中国政府から発動された「金融引き締め政策」の影響により、同国内の自動車の販売が停滞いたしました。これにより、トラック・建機及び中国の自動車メーカー向けのエンジンの輸出が減少となりました。

この結果、売上高は13億1百万円(前年同期比13億71百万円減、51.3%減)となりました。

以 上